

看護学課題研究（在宅看護学）

[研究] 通年 選択 180時間 6単位

《担当者名》竹生礼子 [take-r@hoku-iryu-u.ac.jp]

【概要】

暮らしの場で療養する人々と家族のQOL向上に寄与する課題研究に取り組む。在宅看護学特論・演習等の学修を経て、在宅看護にかかわるテーマを取り上げ、さらに文献検討と臨地実習などを通して研究の課題を明確にする。倫理的配慮に基づいた研究計画の立案、データ収集、分析、考察を行い、一連の研究プロセスを踏むことによって、研究能力を養う。

【学修目標】

1. 研究テーマ、目的を明確化することができる。
2. テーマに沿って、構造的に先行研究の検索及び文献検討を行うことができる。
3. 研究目的に合った研究方法の選択と、一貫性のある研究計画書を作成できる。
4. 研究計画に沿って、データ収集・分析・結果の考察をすすめることができる。
5. 研究論文として形式が整った科学的論文を作成することができる。
6. 研究成果をわかりやすく発表し、質疑に適切に回答することができる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
	【研究課題の範囲】	在宅看護学の研究においては、以下の課題が想定される。 在宅における医療依存度の高い療養者のケアに関すること 在宅における終末期ケア・看とりに関すること 訪問看護、外来看護、地域連携室に関すること 療養者の家族、介護者に関すること 継続看護・退院支援に関すること 地域における多職種連携に関すること 在宅ケア事業所の運営管理に関すること 在宅ケアシステムの構築や社会資源の活用に関すること	竹生
	【スケジュール】	4-8月 研究課題の検討 文献検討 9-12月 研究課題の絞り込み 1-2月 リサーチクエスションの明確化 研究課題の明確化のためのフィールドワーク（臨地実習） 2月 研究計画案作成 中間報告会 4月 研究計画書の作成・提出 5月 データ収集準備 6~7月 データ収集 8~9月 データ分析と結果・考察 10~11月 論文執筆 12月 論文提出	

【授業実施形態】

面接授業と遠隔授業の併用

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

研究の準備、取り組み姿勢（30%）、最終審査試験の評点（70%）

【教科書】

指定なし

【参考書】

適宜選択する

【学修の準備】

実践の中からとらえた疑問、問題意識（クリティカルクエスチョン）を研究ノートに記述しておくこと。関連の文献を精読し簡潔にまとめておくこと。研究をすすめるために、自己の課題に主体的にとりくみ学修をすすめること。